

2012 年 8 月 10 日

アステラス製薬 企業 CM「僕は、アステラスのくすり。」シリーズ第4弾

主人公である「僕」(アステラスのくすり)が
トイレが近いことに悩みながらも
家族との遠出を夢見て一步を踏み出す「お婆ちゃん」へ
想いを語る CM

8 月 18 日(土)より放映開始のお知らせ

ー過去 3 回に引き続き、アニメーション作家“城井 ^{あや}文”さん書下ろしのアニメーションを
女優“本上まなみ”さんのナレーションと、“矢野顕子”さんの音楽にのせて展開ー

～8 月 20 日～8 月 28 日まで、今回の CM に合わせて交通広告も展開～

アステラス製薬株式会社(社長:畑中 好彦、以下、アステラス製薬)は、企業 CM シリーズ「僕は、アステラスのくすり。」の第 4 弾「お婆ちゃんとぼく 遠出の夢篇」を、2012 年 8 月 18 日(土)より放映しますのでお知らせいたします。

アステラス製薬は、2007 年より、「明日は変えられる。」のコミュニケーションスローガンとともに、アンメットメディカルニーズを満たす新薬で、世界中の患者さんの健康に貢献していくという、アステラス製薬の企業姿勢を発信していくブランドコミュニケーションを展開しています。

昨年度から新たに展開している「僕は、アステラスのくすり。」シリーズは、これまでの企業広告で発信してきた創薬への想いをより深く感じていただけるよう、アステラス製薬のくすり(医療用医薬品)自身が主人公(「僕」)となり、一人称の言葉で語っていくシリーズです。くすり自身のこと、アステラスのこと、医療関係者の方々、社員のこと、研究のことなどを、患者さんの視点から表現し、共感性の高い CM を目指しています。

2011 年 4 月より放映を開始した第1弾では、くすりである主人公の「僕」が「アステラス製薬の社員のどんな想いから生まれてきたのか？」自己紹介し、くすりから見た患者さんとの関わりを描きました。また、2011 年 8 月より放映を開始した第2弾では、臓器移植の手術を翌日に控えた少年とともに、病気と闘っていかうとする「僕」の誓いを描き、更に、前回の第 3 弾では、無事に移植手術を乗り越え、夢にまで見たサッカーの決勝戦で見事ゴールを決め、元気になった少年へエールを送り続ける「僕」を描きました。

そして、今回、8 月 18 日(土)から放映を開始する第 4 弾の CM。

トイレが近いことに悩むあるお婆ちゃんは、家族みんなでのお出かけも、トイレが不安だから、といつも遠慮しています。ある日、お婆ちゃんは病気を治して、孫や娘、お爺ちゃんと一緒に出かけのために、病院に足を運ぶ決意をします。主人公である「僕(アステラスのくすり)」は、そんなお婆ちゃんに、「楽しい思い出を一緒に作っていかうね」と優しく語りかけます。

この CM の中で「僕」が語るおばあちゃんへの想いこそ、まさに病気と闘うすべての人々と勇氣

と希望を共有していきたいという、アステラス製薬の社員一人ひとりの想いでもあります。

過去3回に引き続き、イラストは優しいタッチの作風で知られるアニメーション作家・城井文^{あや}さんに、このCMのためだけのアニメーションを書き下ろしていただきました。

それを引き立てるナレーターに女優の本上まなみさんを起用、矢野顕子さんの楽曲にのせて、「僕(アステラスのくすり)」すなわち、アステラス製薬の社員一人ひとりの想いを広く、深く伝えていきます。

CM内容の詳細や放映予定、出演者のプロフィールは、別紙を参照ください。

また、交通広告につきましても、下記の通り展開を予定しています。

- ・JR山手線・京浜東北線・根岸線、中央線等のドア横額面 : 8月20日(月)～8月26日(日)
- ・東京メトロ銀座線・丸ノ内線のドア横額面 : 8月20日(月)～8月26日(日)
- ・大阪地下鉄のドア横額面 : 8月22日(水)～8月28日(火)

アステラス製薬は、今後もさまざまな媒体を通じて、病気と闘うすべての人々と、勇気と希望を共有できるようなブランドコミュニケーションを展開していきます。

【本リリースに関する報道関係の方のお問い合わせ先】

アステラス製薬株式会社 広報部

TEL:03-3244-3201 FAX:03-5201-7473

<別紙 1>

■今回のテレビ CM について

<CM 内容>

「僕は、アステラスのくすり。」は、医療用医薬品であるアステラス製薬のくすりが「僕」として一人称で語っていく物語です。「僕」がアステラス製薬の社員のどんな思いから生まれてきた存在なのかを自己紹介する第 1 弾 CM、臓器移植手術を翌日に控えたサッカー少年とともに病気と闘っていかうとする「僕」の誓いを語る第 2 弾 CM、無事に移植手術を乗り越え、サッカーの決勝戦で見事ゴールを決め、少年へエールを送り続ける「僕」を描いた第 3 弾 CM、そして、今回の第 4 弾では、トイレに近いことに悩みながらも、家族との楽しい時間を過ごしたいと願うお婆ちゃんに、「僕」が優しく語りかける物語です。

* CM カット表は<別紙 2>を参照ください。

<放送予定>

以下の番組で放送していきます。

・TBS系列全国ネット「NEWS23クロス」

毎週月曜日～木曜日 22 時 54 分から(金曜日 23 時 30 分から)

・テレビ東京「Letters ～感謝の手紙～」

毎週木曜日 20 時 54 分から

※ 同番組は BS-JAPAN でも放映。(毎週土曜日 21 時 55 分から)

・テレビスポット CM

東京地区／大阪地区にて 8 月 18 日(土)～8 月 26 日(日)まで放映。

<WEB>

本 CM の 30 秒・60 秒バージョンをアステラス製薬のウェブサイト(<http://www.astellas.com/jp/>)に掲載いたします。またご協力を頂きました、城井文さん、本上まなみさん、矢野顕子さんが登場するスペシャルコンテンツもご覧いただけます。

<コミュニケーションスローガン「明日は変えられる。」>

アステラス製薬は、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念(存在意義)に掲げています。「明日は変えられる。」というコミュニケーションスローガンは、患者さんとそのご家族にとっては、病気という困難を乗り越えていく勇気と希望のことばであり、アステラス製薬にとっては、アンメットメディカルニーズを満たし、ほんとうに求められる新薬づくりに挑戦するアステラスグループの社員一人ひとりの決意のことばです。

明日は変えられる。

それはアステラスの、くすりづくりにかける決意のことば。

すべての患者さんと、新薬とともに闘いたい。

病気を克服して、もう一度心から笑ってほしい。

そんなわたしたちの願いを、このことばに込めています。

■アニメーション担当 プロフィール

【城井 文(しろい あや)】



1968 年生まれ

東京芸術大学デザイン科在学中より、CINANIMA 95（オランダ）入選

BACA - JA 1996 年 最優秀賞受賞、同大学大学院修了作品買い上げ。

修了後、助手、講師をしながら、アニメーション作家として活躍。

子ども番組を中心に PV、CM など、音楽にあわせたアニメーションが得意。

代表作「象の背中」。

現在、東京芸術大学、東京工芸大学、アミューズメントメディア総合芸術学院の非常勤講師も務める。

■ナレーション担当 プロフィール

【本上 まなみ(ほんじょう まなみ)】



1975年東京生まれ、大阪育ち。

女優として数々のドラマ、映画に出演。

バラエティ番組MC、ラジオ番組ナビゲーターも務める。

また、雑誌の連載を持つなどエッセイストとしても活躍。

その活動は多岐に亘る。趣味は絵本の朗読と旅行。

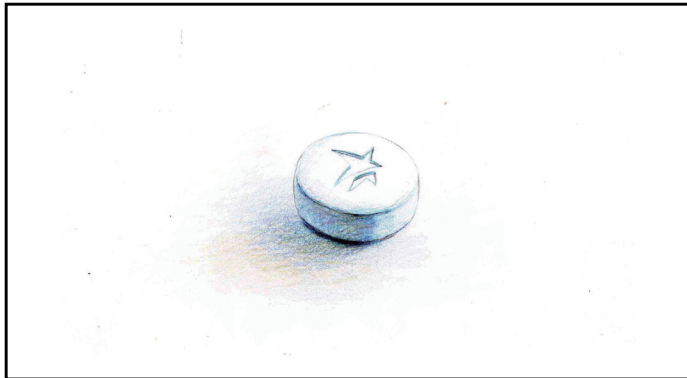
一児の母。

■作曲担当アーティスト プロフィール

【矢野 顕子(やの あきこ)】



1976 年にデビュー。その後、YMO との共演、ピアノ弾き語り「出前コンサート」、児童詩・童謡とのジョイントなど、ジャズ・ロックからクラシックまでの幅広いミュージシャン達との交流を持ち、ジャンルにとらわれない自由・ユニークで質の高い活動が続け、高い評価を獲得。1990 年、ニューヨーク州へ移住。トーマス・ドルビー、パット・メセニー、チーフタンズ、T ボーン・バーネットをはじめとした、世界的なアーティストとの共同制作を行う。2009 年2月には、10年振りとなる弾き語りアルバム「音楽堂」をリリースした。



僕は、アステラスのくすり。



世界にまだないくすりのために。

世界にまだない
くすりのために。



(孫)
行こうよー!

その人は、
おしっこが近くて
悩んでいました。

(おばあちゃん)
いいのよ……。



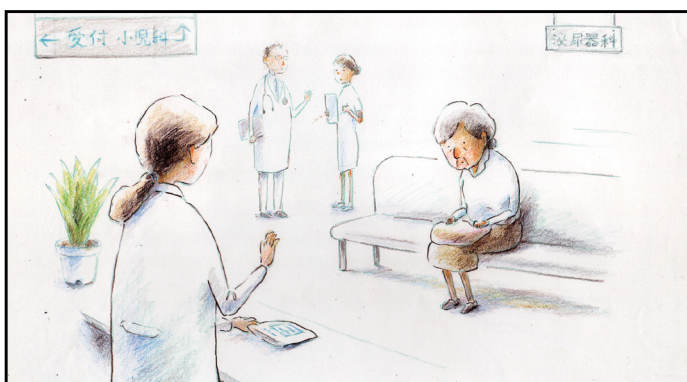
アステラス製薬。



トイレが不安で



家族との外出もできません。



世界には、
病気と気づかれていない
病気で苦しむ人がいるから。



お婆ちゃん。

だから僕は、

生まれてきたんだよ。